

声をください！「快適さ」を

追求した「新田園都市」へ

民主党川崎市議会議員団 川崎市議会議員 おだかつひさ

鷺沼駅前の横断歩道に信号機が設置されて丸1年になります。今、皆さんはど

変化するニーズに添えて「新田園都市」を目指す街の「ブランド」として「宮

年に伴う歩道の凹凸、さらに車の増加に追いつかない道路環境ゆえにあちこちで

何か。点検し、問題をあぶりだすのが市議会議員の役割です。議員の「チェック力」が試されます。市長

んなご感想をお持ちでしょうか？かねて寄せられ続けてきた声に、区役所や地元商店会の皆さんと協議を続けた結果、ようやく実った

「成熟」とともに、住む私たちの需要に合わなくなっている姿も浮かび上がります。宮前区の年輪とともに、私たちの求める「快適さ」は日々変化しています。

「困りごとの当事者になつてみて初めて、役所がこんなにも当てにならないのかと痛感した。こんな声が日々数々寄せられています。

「区役所や病院に行くコミバスを」「いつでも人園できる保育園を」など、なかなか事態は動きません。足かせになっているのは



おだかつひさ

幸区生まれ、53歳 駒場東邦高校、中央大学法学部卒業（地方自治、都市政策専攻）
国会議員秘書を経て、2003年市議会初当選、現在3期目。総務委員会委員長、議会運営委員会副委員長、議会政策担当委員メンバー。好きな言葉「知行合一」、有馬在住

f t おだかつひさ 検索

「宮前区」を単なる「ブランドの街」だけにしないために、これからも皆さんの声を市の政策に反映させてがんばります。

と、市民の皆さんから厳しい声がかかるのは当然です。